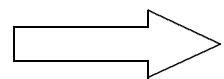




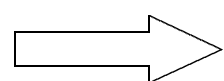
海の漁協

ヒラメまつりを



川の漁業

サケまつりを



↑ 出初め式

請戸地区では、「魚をとって、売る」という漁業だけではなく、観光漁業もとり入れています。夏の「ヒラメまつり」や秋の「サケまつり」には、東北地方や関東地方からの客だけではなく、遠くからおとずれる人もふえてきました。

漁業とともにくらす

海べの人びとは、どのようなことを願いながら、くらししているのでしょうか。

毎年1月2日には、請戸港の出初め式が行われ、大漁旗をなびかせた漁船が港を出ていきます。大漁旗には、船の安全を願う気持ちと魚がたくさんとれることをいのる気持ちがこめられています。

サケの供養塔

泉田川のやな場の近くにサケの供養塔があります。漁業としてサケをつかまえている漁師さんの思いがこめられています。



漁協の人の話

最近は、外国から入ってくる魚がふえてきたことと魚の量がへってきていることが問題となってきています。そのほか、大きさが小さい魚はとらないようにするなどくふうをしています。